

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2019-80973 (P2019-80973A)
 【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-020
 【出願番号】特願 2019-17570 (P2019-17570)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	6 5 0
A 6 3 F	5/04	6 0 3 A
A 6 3 F	5/04	6 0 3 D
A 6 3 F	5/04	6 0 3 E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を実行可能な第 1 手段、第 2 手段、第 3 手段及び第 4 手段と、
前記第 1 手段を制御可能な第 1 制御手段と、
前記第 2 手段を制御可能な第 2 制御手段と、
前記第 3 手段を制御可能な第 3 制御手段と、
前記第 4 手段を制御可能な第 4 制御手段と、を備え、
 前記第 3 制御手段は、前記第 3 手段により所定演出を開始させるときに、演出開始を要求する演出開始要求を行い、
 前記第 1 制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第 1 手段による演出を開始させ、
 前記第 2 制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第 2 手段による演出を開始させ、
 前記第 4 制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第 4 手段による演出を開始させ、
 前記第 2 制御手段は、前記第 2 手段により特定演出を実行させることが可能であり、
 前記第 1 制御手段は、前記第 1 手段に実行させる演出が前記特定演出に関連付けられた特定関連演出である場合は、当該特定関連演出の実行中に、前記特定演出と同期するように前記第 1 手段に前記特定関連演出を実行させることが可能であり、
 前記第 3 制御手段は、前記第 3 手段による前記所定演出を終了させるときに、演出終了を要求する演出終了要求を行い、
 前記第 1 制御手段は、前記演出終了要求を受けたときに、前記第 1 手段により実行されている演出を終了させる
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

演出を実行可能な第1手段（例えば、後述の液晶表示装置11）、第2手段（例えば、後述のスピーカ20L、20R）、第3手段（例えば、後述の回転役物ユニット122）及び第4手段（例えば、後述のヘッドランプ21及びリールランプ22）と、

前記第1手段を制御可能な第1制御手段（例えば、後述のアニメーション制御タスク）と、

前記第2手段を制御可能な第2制御手段（例えば、後述のサウンド制御タスク）と、

前記第3手段を制御可能な第3制御手段（例えば、後述の役物制御タスク）と、

前記第4手段を制御可能な第4制御手段（例えば、後述のランプ制御タスク）と、を備え、

前記第3制御手段は、前記第3手段により所定演出を開始させるときに、演出開始を要求する演出開始要求（例えば、後述のスタートレバー16の操作）を行い、

前記第1制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第1手段による演出を開始させ、

前記第2制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第2手段による演出を開始させ、

前記第4制御手段は、前記演出開始要求を受けたときに、前記第4手段による演出を開始させ、

前記第2制御手段は、前記第2手段により特定演出（例えば、後述のサウンド役物連動演出）を実行させることが可能であり、

前記第1制御手段は、前記第1手段に実行させる演出が前記特定演出に関連付けられた特定関連演出である場合は、当該特定関連演出の実行中に、前記特定演出と同期するように前記第1手段に前記特定関連演出を実行させることが可能であり、

前記第3制御手段は、前記第3手段による前記所定演出を終了させるときに、演出終了を要求する演出終了要求（例えば、後述の連動終了要求）を行い、

前記第1制御手段は、前記演出終了要求を受けたときに、前記第1手段により実行されている演出を終了させる

ことを特徴とする遊技機。